



全力投球

湖南省立石部中学校 学校便り NO9

☆スマホから ホームページ右上▷ 三 ▷2020 広報

☆パソコンから ホームページ▷続きを読む▷2020 広報
カラーで見えていただくことができます。

あけましておめでとうございます。

令和3年が始まりました。昨年は新型コロナウイルス感染症の流行により、ほぼ3ヶ月間の休校を余儀なくされました。学校の行事なども中止・縮小・内容変更を行うことが多くありました。心配をしていた各教科の授業の遅れについては、長期休暇の短縮、行事等の縮小による授業数の確保などにより、取り戻すことができています。

学校行事の変更にとどまらず、マスク着用・検温・体操服での学校生活可
・換気・教室での給食実施・消毒作業など、今までにはなかった学校での取
り組みも必要となり、生徒、保護者、地域の皆様にはずいぶんご心配をかけ、
ご協力をお願いさせていただくことが多くありました。学校へのあたたかい
ご支援とご協力に感謝しております。



令和3年が始まりましたが、まだまだ新型コロナ感染症の流行がおさまる気配も乏しく、7日には1都3
県の首都圏で緊急事態宣言が発令されました。学校では感染予防対策を行いながら、生徒の皆さんが充実し
た学校生活を送ることができるよう工夫をしていきたいと考えています。昨年同様にあたたかく見ていた
だけたらとお願いいたします。

石部中学校生徒会活動が各方面で紹介されています。(令和2年12月21日京都新聞)

「飛び出し坊や」CF活用し製作

コロナ禍で年度当初が
休校になり、学校行事
とともに生徒会活動も
中止・縮小が相次ぐ中、
可能な活動を6月から
生徒会執行部が検討。
交通量が多い一方で狭い
道が多い地域の実情を
考慮し、看板設置を考え
た。

意義を地域や社会に
訴えるための資金調達には
クラウドファンディング
を活用した。サイトに載
せる計画紹介の文面や返
礼内容も生徒が手掛け、
計40人から目標額を5万
円余り上回る15万5千円
を集めた。

クラウドファンディング
から3年生の旧生徒会
を募集した。



飛び出し坊やに色を塗る生徒たち
(湖南省・石部中)

学内公募で15図案決定

湖南・石部中生徒会が交通安全看板「飛び出し坊や」の製作を進め
ている。クラウドファンディング(CF)で資金を調達し、イラストを学
内公募した。生徒は「コロナ禍でも安全な行事が中止になり、今でき
ることを考えた。生徒や地域住民の交通安全の役に立てば」としている。

湖南・石部中生徒会 2月に地域設置

生徒会が中心となり、コロナ禍で学校
行事が縮小される中でも、自分たちにで
きる活動を考えています。「石部に飛び
出し坊や」を設置しようという活動は、
多くの方の賛同や協力をいただきなが
ら2月設置に向け活動中です。

その活躍のようすが新聞に報道され
ました。

☆左の新聞の見出しにある CF とはクラ
ウドファンディングのことで、活動に賛同し
ただける方からインターネットのサイ
トを通して資金を援助していただきました。

☆図案は全校から公募し、投票で決定しま
した。

☆設置場所は登下校中に危険な場所を全校
生徒に尋ねて、決定をしました。

◎中日新聞社、関西テレビも1/13(水)に
取材に来られる予定です。

PTA より加湿器・裁断機を購入していただきました。



新型コロナウイルスにより、PTA 活動も制限を受けたり、中止となることがありまし
た。そのため、執行ができなかった予算があります。その予算を「生徒のために使用
できないか？」とのありがたい申し出をいただきました。それをうけて「加湿器3台」
の購入「裁断機」購入の補助に使わせていただきました。加湿器は各教室にあったも
のが、老朽化しており、今回購入させていただいた3台は3年生の教室に設置させて
いただきました。大切に使用させていただきます。どうもありがとうございました。



～授業から～ 2021年目標を漢字1文字で表すと・・・3年生国語の授業より「筆ペンで書く」
 「勝」弱い自分に勝てるように頑張りたいから。「成」高校生になるので、心も成長できるように。
 「進」前に進むこと。進化していけるよう努力したい。「健」健康に生きる。
 「飛」飛躍の年にしたいから。「友」4月からは新しい友だちとの出会いがたくさんあるから。
 「素」素の自分を大切にしたいから。「破」受験突破、自己ベストを破り続ける。内気な性格の打破
 「零」零から新しい生活が始まるという意味で。「継」どんなことも継続してやっていく。「継続は力なり」
 「笑」何事にも「笑顔」で過ごす。「選」自分の行きたい道を選択する。
 それぞれの強い思いが伝わってきます。1, 2年生の皆さんならどのような漢字を書きましょうか？



表彰関係

滋賀県アンサンブルコンテスト中部地区大会 管打6重奏 銀賞 吹奏楽部
 小谷真子さん 東畑花凜さん 吉田光伶さん 宮田夢子さん 新庄開さん 善利 玲さん
 HACHIMAN WINTER CUP 2020 男子バスケットボール部 準優勝

行事予定 (新型コロナウイルス感染症流行により変更する場合があります)

1/6 (水) 始業式、給食開始
 2、3年実力テスト1年確認テスト
 2/4 (木)、5 (金)
 県内私学入試
 2/8 (月)、9 (火)
 県立特推スポ文入試
 2/18 (木) (給食なし) 学年末テスト
 2/19 (金) 学年末テスト

3/9 (火) 県立一般入試
 3/10 (水) 県立一般実技検査
 3/15 (月) 卒業式 (PM) 給食なし
 [1, 2年午前登校 3年午後登校]
 3/16 (火) 県立一般合格発表
 3/24 (水) 修了式
 3/25 (木) ~春季休業

卒業証書授与式について
 3月15日 (月)
 14:00~開式
 卒業生、保護者、教職員で実施します。来賓、在校生の出席は控える予定です。《新型コロナウイルス感染症予防のため出席人数を抑える対応をさせていただきます。》

帰省 (校長のつぶやき)

この冬休みに実家に帰省しました。中学生の皆さんからみると、私はずいぶん高齢に見えると思います。ですが「子はいつまでたっても子」84歳の母にとって、私はいくつになっても心配な子です。「ちゃんとやっているとと思うけど・・・」心配性なところは昔から変わっていません。思春期のころなら「もう、ちゃんとやっていると、大丈夫や、うるさいな、ほっといて」などと生意気な返答をしていたことでしょう。しかし、自分自身が親として生活をしてきた今では、気持ちはわかります。ただただ我が子が好きで、ただただ我が子が心配なだけです。そのことがわかる今は、生意気な返答などできるわけがありません。

私の子どもころの話になりました。親ばかりですが、「とても優しい子」だったということです。あわせて「とても恥ずかしがりや」だったとも。始業式で少しお話ししましたが、小学校時代は人前で発言するのが極端に苦手で、発表は無理でした。歌のテストは、緊張から声を出すことがまったくできませんでした。ついでに、好きな女の子に話しかけることなど、考えただけでも卒倒しそうでした。(ああ!なんて!純情な!少年!)

純情だった少年も、中学・高校・大学・社会人と年と経験を重ねていくうちに人前でしゃべることできるようになり、人前で歌うこともできるようになっています。緊張で声が出ないという心配はしなくてもすんでいます。そんなこと充分にわかっているはずだけど、それでも心配なのでしょう。

過去にオレオレ詐欺が教育委員会を名乗って「お宅の息子が生徒を殴ってけがをさせた。示談金が必要・・・」という電話を受けたときは「そんなこと絶対ありえない」と思いながらも、「心臓のばくばくが、電話を切っても止まらなかった。でたらめと確認できてからやっと生き返った。」と話していました。

我が子が帰省をしました。「どう?ちゃんとやっているとと思うけど・・・」
 うん?どこかで聞いたことのあるセリフを、私も口に出していました。

